

各位

ベリトランス株式会社
三井住友カード株式会社

**ベリトランスと三井住友カード、「銀聯網決済」において
利便性を向上する新たな認証スキームを導入**
～インターネット通販で安全性が高く便利な銀聯カードの決済方式を拡充へ～

オンライン決済ソリューションを提供するベリトランス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：沖田 貴史、以下：ベリトランス）と、三井住友カード株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：島田 秀男、以下：三井住友カード）は、2009年より提携し提供を行っている中国本土向けのインターネット通販に向けた銀聯カード決済（「銀聯網決済」）に、新たな認証スキーム「UnionPay Online Payment (UPOP)」を導入しました。その第一弾として、2012年5月14日にベリトランスが企画・運営する中国人消費者向けインターネットショッピングモール「佰宜杰.com（バイジェイドットコム：www.buy-j.com）」内で、UPOPの利用を開始します。

「UPOP（ユーポップ）」とは、銀聯カード会員の利便性向上と加盟店の決済方式の多様化を目的とし中国銀聯が開発したオンライン決済のプラットフォームで、以下4つの決済方式の中から銀聯カード会員がいずれかを選択できるのが特徴です。

決済方式	内容
eBank-Pay	銀聯カード発行銀行のインターネットバンキングシステムへ接続して決済を行う方式（従来の銀聯網決済プラットフォーム「CUPSecure」と同様の機能をUPOPで提供）
Veri-Pay	カード情報（カード番号、有効期限等）に加え、携帯電話番号とワンタイムパスワードを活用した決済方式
Express-Pay	UPOPにカード番号を含めた銀聯カード登録を行ない、UPOPより発行されたIDとパスワードを用いて決済を行う方式
Pre-Pay	銀聯プリペイドカードによる決済方式

今回のUPOPの導入により、ネットバンキング方式（従来のCUPSecure）に加えて新たに3方式での決済が可能となり、銀聯カード会員の利便性が格段に向上することが見込まれます。

ベリトランスと三井住友カードは、今後も日本のEC事業者や中国人消費者のニーズに合わせた「銀聯網決済」のサービス拡充を図り、中国人消費者向けEC市場の活性化に寄与して参ります。

本件(ニュースリリース)に関するお問い合わせ先

ベリトランス株式会社 / 総合企画室	伊藤	(03-6229-0851)
三井住友カード株式会社 / 経営企画部	広報室 河内	(03-5470-7240)

【中国銀聯について】

中国銀聯は 2002 年に中国の中央銀行である中国人民銀行が中心となり政府主導で設立された、中国での銀行間決済ネットワーク運営会社です。中国国内でカードを発行している銀行は全て中国銀聯に加盟しており、国内・海外合わせて 400 以上の金融機関が銀聯ネットワークに参加しております。

【銀聯カードについて】

銀聯カードは中国の銀行が発行するカードに付与されたブランドで、既に中国国内では約 28.5 億枚(2011 年 12 月末現在)発行されており、来日するほとんどの中国人が所持しているカードです。

A T M ネットワークでの利用だけでなく、小売店や飲食店でも広く利用されております。

さらに、中国銀聯は中国でのカード社会の基盤構築を図る一方、国際ブランドとしての展開を目指し、海外の銀行・カード会社とも積極的な提携を行い、中国国外での銀聯カードの利用拡大を図っております。2004 年 5 月の香港での利用開始を皮切りに、マカオ、韓国、シンガポール、タイに続き、2005 年 12 月には三井住友カードとの提携により日本での銀聯カード利用が開始されました。さらに米国・欧州各国中心に拡大し、現在 124 カ国・地域で利用可能となっております。

ベリトランスは、2009 年 1 月に中国人消費者向けインターネットショッピングモール「バイジェイドットコム」を開設し、日本で初となる中国本土向けのインターネット通販での銀聯カード決済の提供を開始しました。その他、中国人観光客向けに日本国内で中国銀聯カードが使えるお店を紹介するナビゲーションサイト「杰街同歩(ジェイジェストリート: www.jj-street.com)」を開設するなど、中国に住む中国銀聯カードユーザ向けのネットサービスを積極的に提供しております。

三井住友カードは、日本国内での銀聯カード取扱加盟店の拡大を図っており、既に空港免税店や大手家電量販店、百貨店、ホテル・旅館、ブランドショップ、ショッピングセンター等に広がっております。

【バイジェイドットコムについて】

バイジェイドットコムは、ベリトランスが企画・運営を行う中国人消費者向けインターネットショッピングモールです。銀聯カードを使った決済を搭載しており、物流や翻訳、ユーザ対応までをベリトランスがトータルサポートしています。そのため、中国展開を考える日本企業は、商品と商品データさえ準備すれば簡単に中国向けに商品を販売することができます。また、中国人消費者はモール内で銀聯カードを使ったネット決済が可能となり、さらに商品が日本の正規店から直送されるため、安心して日本商品を購入することができます。

【参考：銀聯ネット決済スキーム図】

